

第 1 章 調査の経過と目的

第1節 調査に至る経緯と目的

愛媛県北宇和郡松野町大字目黒は、四国の西南部、松野町の南西に位置する。北西側は宇和島市と、南側は高知県四万十市西土佐大宮とそれぞれ接している。宇和島市側には標高 1,000m を超える鬼ヶ城山系が連なり、これらに囲まれた滑床溪谷は花崗岩の美しい滑状河床と豊かな森林資源が保たれている。また、滑床溪谷に端を発する目黒川は、四万十川流域にあって直線的に流れる谷底平野を形成している。この目黒川流域に展開するのが目黒集落であり、豊かな農山村景観を今に伝えている（図 1-1-1）。

こうした自然環境から、目黒地域は自然保護と景観保全がなされてきた。とくに滑床溪谷は、昭和 47 年（1972）に環境省によって足摺宇和海国立公園に指定されたことをきっかけに、自然保護活動が行われている。また、平成 19 年（2007）8 月に設立された「四国風景街道協議会」によって登録された「南いよ風景かいどう」で、目黒地区は「蜚の畦道」として毎年 6 月にライトアップイベントを開催するなど、地域の風景を次世代に継承し、その魅力を全国に紹介し広く交流人口を高めようとする取り組みを行っている。なお、平成 27 年（2015）3 月に第 1 次森の国松野町景観計画が策定され、目黒地区は「目黒川流域保全ゾーン」として景観の維持・保全が必要とされる地域に位置づけられている。

このような状況下にあるが、少子高齢化、後継者不足、農作物や木材価格の低迷、有害鳥獣被害の発生等、現状の景観を保全していく環境は依然厳しい状況下にある。特に、平成 30 年（2018）3 月に松野南小学校が閉校となったことは、過疎化の現実を突きつけられるとともに、地域の活力を奪う要因のひとつとなっている。

以上の現状と課題を受けて、松野町教育委員会では目黒の農山村景観を継承していくためには、早急な保存調査を実施することで本地域を貴重な文化遺産として捉え直し、その価値について地域住民と行政の共有が急務であると考え、事業実施の運びとなった。本調査は、目黒の農山村景観の本質的な価値を把握し、適切な保存と活用による次世代への継承と地域活性化を図ることを目的とした計画づくりのために実施したものである。

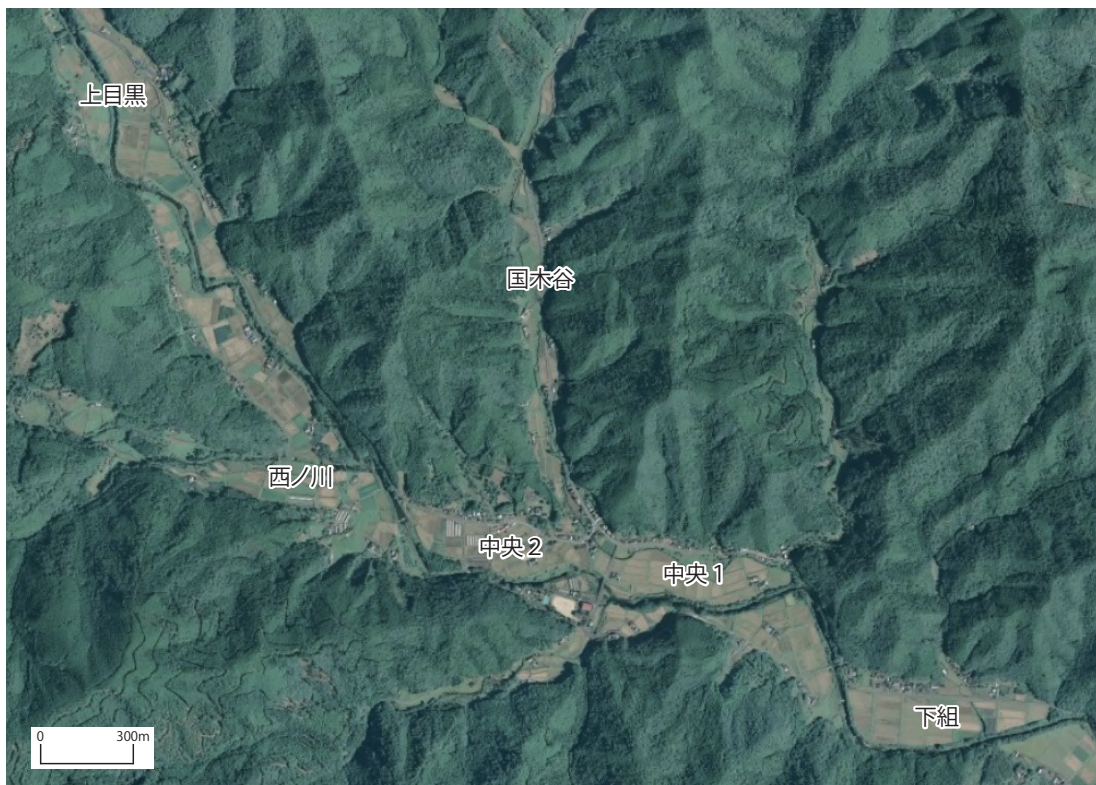


図 1-1-1 目黒地域の集落

第2節 事業の経過と体制

目黒の文化的景観の調査や保存に関する事業経過については表 1-2-1 のとおりである。目黒地区の本格的な文化的景観調査は、平成 28 年度から令和元年度の 4 ヶ年にわたり自然、歴史、生活及び生業の各分野について実施し、本地区の文化的景観の本質的な価値や特性、景観構成要素の特定を行った。

調査にあたっては、松野町の文化的景観調査指導委員会及び調査部会を設置し（表 1-2-2・3）、委員会は平成 28 年度から合計 5 回、部会は平成 29 年度から合計 4 回にわたり調査内容について指導を受けた。また、文化庁文化財第二課及び愛媛県教育委員会事務局文化財保護課にはオブザーバーとして助言を得た。

また、事業の推進にあっては、地元住民との協力体制の構築が必要不可欠となることから、調査の進捗状況についての説明会、また文化的景観に関する研修会、ワークショップ等を合計 4 回、目黒基幹集落センターを中心に行った。

表 1-2-1 松野町の文化的景観事業の経過

年 度	月 日	事 業 内 容
平成 28 年度	1 月 30 日	第 1 回松野町の文化的景観調査指導委員会
	2 月 27 日	目黒地区事業説明会、ワークショップ
平成 29 年度	11 月 11 日	第 1 回松野町の文化的景観調査指導委員会 「奥内の棚田及び農山村景観」シンポジウム
	1 月 22 日	第 1 回松野町の文化的景観調査部会
	3 月 6 日	第 2 回松野町の文化的景観調査指導委員会
	4 月 10 日	第 1 回松野町の文化的景観調査部会
平成 30 年度	9 月 18 日	目黒地区事業説明会、ワークショップ
	5 月 14 日	目黒地区事業説明会、調査成果報告会、ワークショップ
平成 31 年度	7 月 2 日	第 1 回松野町の文化的景観調査指導委員会
	7 月 22 日	第 1 回松野町の文化的景観調査部会
	8 月 28 日	第 2 回松野町の文化的景観調査部会（自然・歴史部会）
	9 月 20 日	目黒地区事業説明会、ワークショップ
	10 月 27 日	第 1 回松野町の文化的景観調査指導委員会

表 1-2-2 松野町の文化的景観調査指導委員会の構成

役 職	氏 名	所 属	備 考
委員長	下條信行	愛媛大学名誉教授	考古
副委員長	上杉和央	京都府立大学文学部准教授	歴史地理
委 員	江崎次夫	愛媛大学名誉教授	森林環境
委 員	井口 梓	愛媛大学社会共創学部准教授	観光
委 員	矢野義昌	地域代表	
委 員	岡田春喜	地域代表	平成 28 ～ 29 年度
委 員	竹内義富	地域代表	平成 30 年度～

表 1-2-3 松野町の文化的景観調査部会の構成

部 会	氏 名	所 属	備 考
歴史 調査部会	上杉和央	京都府立大学文学部准教授	歴史地理
	東 昇	京都府立大学文学部准教授	文献
	島本多敬	滋賀県立琵琶湖博物館学芸員	歴史地理
自然 調査部会	上杉和央	京都府立大学文学部准教授	歴史地理
	山本貴仁	特定非営利活動法人西条自然学校	景観生態
	松井宏光	松山東雲短期大学名誉教授	森林環境
	渡邊敬逸	愛媛大学社会共創学部准教授	地理
	上杉和央	京都府立大学文学部准教授	歴史地理
生活・生業 調査部会	宮本春樹	日本民俗学会	民俗
	釜床美也子	香川大学創造工学部助教	建築
	井口 梓	愛媛大学社会共創学部准教授	観光